

③ 平成19年3月18日号
(第3種郵便物認可)

山口経済レポート



社長は、福島県いわき市のいわき中央工業団地で建設していいた「東北工場」を竣工させ、三月一日竣工式を行つとともに、本格操業に入った。
これにより、本社および熊毛工場の年間四、五〇〇トン体制から今後期ベースで七、〇〇〇トン、三工場フル稼働後は最大年一万吨の生産能力まで拡大する。

A black and white photograph showing a group of approximately ten people in a hallway or lobby area. They are dressed in professional attire, including suits and ties. Some individuals have name tags pinned to their lapels. The group is gathered around a large, dark-colored display board or wall panel. On the left side of the image, there is a decorative arrangement of dried branches and small, light-colored objects, possibly ornaments or pieces of art. The background shows architectural details like ceiling beams and other parts of the building's interior.

サンボリ、いわき中部工業団地に進出

○ントで、年間四億円の生産を見込み現地で二三名を採用した。

様々な業種から排出される廃棄物を用いて、ポリフィルム等を代表とする使用済プラスチック(ポリエチレン)を受け入れ、粉碎・溶解・成形といった工程を経て、農業・土木・漁業資材など約二〇〇種類の製品を製造し、全国のユーザーに供給する同社。生産量拡大のため新たな場所での原料調達が必要なつてきしたことや、新製品を作つて欲しいという取引先からの要望、また北

利用頻度の高い介護、カルチャーカー教室、グルメなど八ジャンルで関連業種をグルーピングした。なお、八ジャンル以外は、従来通りの業種五〇音順掲載となる。

表紙の人

鹿嶋英一郎氏（かしまえいいちろう） 昭和35年11月28日生まれの46歳。防府市出身。昭和58年山口大学経済学部卒業。同年4月、実父鹿嶋博文氏（現会長・経営の山陽ボリ総業株（現株サンポリ）に入社。現場・製造業務ならびに営業職を経験した後、平成3年11月常務取締役に就任。

平成8年から常務として営業全般に加え、本社工場の管理も統括しながら経営全般を補佐。13年1月から代表取締役に就任。

行社長

卷之三

西日本電信電話(株)山口支店(山口市熊野町、山本博敏支店長)は、NTT番号情報(株)と協力し、利便性と検索性を向上した山口県版ディリーサウンドページ(職業別電話帳)を四月より発行する。

社長になつて六年、東北工場竣工という初のビッグプロジェクトに取り組んだ鹿嶋氏は、「廃プラスチックを素材としたものづくり三五年の実績をもとに、リサイクル分野でより一層社会に貢献していくたい」と抱負を述べる。